2015、11.29

　深田洋子　岩谷栄子

**2015Follow-up Seminar概要**

１、参加者

卒業生：子連れ2人を含めて28人参加、

　　1: Shanta, Amrita 2:Lalmaya,

 4: Sujata ５；Laxmi

6:KamalaD,Dipa ,Janaki, KamalaB, BipanaB, SrijanaB, Anjana

7: Arity,Radha,AsmitaB, Chhaya, Bipana, Shivalaxmi, Sumitra

　講師：Suresh Manandhar, Yadab, Keshab, **Safala**

 **スタッフ：岩谷、深田、石井**

２、研修会の意義を確認する。

　　　実践報告をし、評価を受ける

　　　課題をもちより、解決策を掴む

　　　新しい指導法を学ぶ

　　　勇気をもらい、自信をつける

3年後の教員継続のための力を付ける

３、各人の活動の実践報告

　　一年間の目標を定め、日々振り返りながら自分がどの様に教員として、取り組んできたかを三回にわたって、全員報告。

４、教員採用試験合格者の体験談

　　　さくら寮1期生sant高校の採用試験(英語科)に合格、体験談

　　　同じく1期生のアムリタが国家公務員としての体験談を報告

　　　後輩に大きな刺激を与えることができた。

５、次回研修会(10周年事業)に向けてリーダー会議

　　記念誌については

　　　①100人に2分の１ページずつ書いてもらう。

　　　②5月卒業式の時までにManjuさんあてさくら寮に送ってもらう。

　　　③ネットワークリーダーにその旨、連絡をしてもらう。

　　　④5月編集のため、スタッフが時間を取る（岩谷、新井場、マンジュ）

　　　⑤内容については、さくら寮生時代、赴任地での先生として、支援の3年後の生活について、未就学児童への取組等の項目をいくつか選んで書いてもらう。

　　　⑥アルバムについてマンジュさんに編集をお願いする。

　　　　　5月、日本人スタッフと確認

　　　⑦3回位の校正を通じて、8月には完成し、現地理事会時に理事長に最終確認

　　　⑧10月イベントの時に卒業生に渡す。

　　　ネパール語なので、他の参加者のネパール人にも配付する。

　　　保存用に20部程作成。(日本語版も作成？)

 イベント発表者（候補）

　　　①サンタの実践報告（学校での指導、先生採用試験の取り組み）

　　　②ｽｼﾞｬﾀの実践報告（留学生活を活かしたネパールでの実践報告）

　　　③Surijyana、チャヤ？　　（チャウパディ慣習根絶の取り組み）

 　　　パネルシアターは3月古宇田グループが来寮したときに検討してもらう

　　　音楽は今村務さんが指導訪問の時指導してもらう。

 ６．JICA草の根技術支援事業　新・草の根協力支援型申請内容

　　　パイロット校としての観点（スジャタの学校の状況）

彼女は2年の担任として、ネパールでは特別な取り組みを実践しています。10時から、16時までの授業が詰まっているので他の先生はやりたがらないのですが、率先して取り組み、保護者子どもたちに大好評（政府も今推奨している）

2年前、環境教育の一環として、DEOから3万円の賞金をもらい、今年の7月は「今後5 年間でどのような学校にしたいか」というSIC公募でカピルバスツー郡で1番になりメダルを貰った。

5年後の目標の中に、音楽の授業と保健体育の充実が盛り込まれていて

校長は、ｽｼﾞｬﾀが音楽を教えていることをとても喜んでくれているし、

また保健体育のよい先生になってくれるよう要望された。

７．報告集(案)　２月理事会に間に合うよう編集

　　①アルバム8p　②　2014年度体験報告5p/13ｐ　③サンタ・アムリタの報告2p/15p　④自己評価の重要性岩谷1p/16p　⑤マナンダ―ル学長講話1p/17ｐ　⑥ヤダブ先生講話１P/18p　⑦ケシャプ先生講話1p/19p

　　⑧サファラ先生実践法2p/20ｐ　⑨地震の話クリシュナ1p/21ｐ

　　⑩チャウバディ―1p/22ｐ　⑪留学生体験報告3p/25ｐ　⑫トピックス

　　ラルマヤ、ラダの実践報告　1p/26ｐ　⑬絵手紙作成石井2p/28ｐ

　　⑭英語教育